

設置期間	2023年4月～2026年3月			
研究課題名	交流と相克のユーラシア東方史			
(英 文)	Interaction and Conflict in the Eastern Eurasian History			
研究目的の概要 (400字程度)	<p>ユーラシア東方は、草原・砂漠から成る乾燥地帯の中央ユーラシア東部と世界屈指の農耕地帯である中国本土とにまたがる地域である。そこは、古くから北の遊牧・狩猟民と南の農耕民という異なる生態環境に根ざした生業を持つ人びとが接触・交流する場であった。北方の遊牧・狩猟民集団は、前近代には最強だった騎馬軍事力を武器として、何度も強大な遊牧王朝を形成して南の中国王朝と対峙し、ときには中国本土を軍事制圧して支配下に入れることもあった。北方草原の遊牧民と中国本土の農耕民とあいだの対立・共存・支配被支配・融合といった多様な関係性は、ユーラシア東方の歴史の基調をなすといつてよい。本研究班では、前年度までおこなわれた共同研究班「前近代ユーラシア東方における戦争と外交」の成果をふまえ、12世紀前半にマンチュリアより勃興してユーラシア東方に覇を唱えた金（女真）と宋朝との関係をおもに記した南宋時代の史書『三朝北盟会編』を取り上げる。文献の精読をつうじて、ユーラシア東方における遊牧・民を中心とする北方勢力と中国本土に暮らす人びととのあいだの交流と相克の実態を具体的に検討するとともに、金の華北征服という北方からの衝撃が、当時の中国の政治・社会・文化にいかなる影響を及ぼし、いかなる変容をもたらしたのかという、中国史上の重要な問題を考究することをも目指すものである。</p>			
研究会開催予定等	年15回 火 16:00-19:00			
No.	班長・副班長	氏 名	区分	所属
1	班長	古松 崇志	所内	
2		矢木 毅	所内	
3		村上 衛	所内	
4		高井 たかね	所内	
5		遠藤 総史	国立大学	名古屋大学大学院文学研究科・日本学術振興会
6		木村 可奈子	国立大学	東北大学大学院国際文化研究科
7		蔡 長廷	国立大学	名古屋大学大学院文学研究科
8		船田 善之	国立大学	広島大学人間社会科学研究科
9		古畑 徹	国立大学	金沢大学人間社会研究域国際学系
10		岩本 真利絵	公立大学	釧路公立大学
11		渡辺 健哉	公立大学	大阪公立大学文学研究科
12		飯山 知保	私立大学	早稲田大学文学学術院
13		井黒 忍	私立大学	大谷大学文学部
14		伊藤 一馬	私立大学	日本大学法学部
15		岩井 茂樹	私立大学	京都橘大学文学部
16		小野 達哉	私立大学	同志社大学文学部
17		加藤 雄三	私立大学	専修大学法学部
18		小林 隆道	私立大学	神戸女学院大学文学部
19		齊藤 茂雄	私立大学	帝京大学文学部
20		承志	私立大学	追手門学院大学文学部
21		城地 孝	私立大学	同志社大学文学部

No.	班長・副班長	氏名	区分	所属
22		武田 和哉	私立大学	大谷大学社会学部
23		藤本 猛	私立大学	京都女子大学文学部
24		藤原 崇人	私立大学	龍谷大学文学部
25		水越 知	私立大学	関西学院大学文学部
26		毛利 英介	私立大学	昭和女子大学人間文化学部